



取締役頭取

## 大城勇夫

### GREETING ごあいさつ

皆さまには、平素より、琉球銀行をご利用、お引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。

多くの皆さまに琉球銀行をより一層ご理解いただくために、「琉球銀行の現状(2009年度中間ディスクロージャー誌)を作成しました。

平成21年度上半期の国内経済は、雇用情勢が悪化する中、在庫調整の一巡や政府の経済対策の効果、対外経済環境の改善などにより持ち直しの動きがみられました。

県内経済は、政府の経済対策の下支え効果が一部でみられたものの、観光が国内景気低迷の影響から弱い動きを続け、消費は消費者の節約意識の高まりから弱含み、建設も企業の建設投資の減少から引き続き弱含んだことから、後退の動きを続けました。

当行においては、年度の経営目標として「公的資金の完済を目指した利益確保と収益基盤の強化」を掲げ、質・量の充実を意識しつつ、平成19年度を初年度とする中期経営計画「CHALLENGE 51」に沿って、営業チャネルの拡大、中小企業向けローン、預金・預かり資産販売などに取り組みました。

当行は、お客さまのニーズに適切に対応し、沖縄経済の発展に寄与するリーディングバンクとしての役割を果たし、「沖縄になくてはならない銀行」として、お客さまからの高い信頼、支持をいただけるよう努めてまいります。

平成22年1月